

# 一般質問

## 市民クラブ政策提言から



市民クラブ 笠原 宏平  
かさほら こうへい

### ●道路網の整備について

**問** 大滝トンネルと長尾根トンネルの早期開削について。

**答** (仮称) 大滝トンネルの事業化については西関東連絡道路の現在事業中の国道140号皆野寄居バイパスの進捗状況を踏まえ、秩父地域全体の基幹道路の効果的なあり方について、今後検討していくとのこと、引き続き埼玉県に早期事業化を要望していく。

長尾根トンネルについても同様に早期事業化を要望するほか、道路整備促進期成同盟会埼玉協議会において、国土交通省並びに埼玉県選出の国会議員に対しても継続して要望活動をしていく。

### ●教育の充実について

**問** 小学校・中学校の再配置の検討について。

**答** 現在のところ、大滝地区以外具体的な計画や話し合いは行われていない状況。なお、適正な学校規模について、国の規則等を見ると、小中学校の学級数は12学級以上18学級以下が標準とあるが、当市にとって適正であるとは考えておらず、研究検討を進めていく。

### ●学習環境の整備について。

**問** 地球温暖化等により異常高温の傾向が続く中、普通教室にエアコンを整備することは、児童・生徒の健康面や学習意欲の向上に役立つことを充分理解している。教育委員会としては、財政課と連絡を密に取り、できるだけ早く提供できるよう努力していく。

## 政策提言 秩父の農業



市民クラブ 竹内 勝利  
たけうち かつとし

### ●森林管理道について

**問** 森林管理道の進捗状況は。

**答** 市内では、旧秩父地区7路線、吉田地区28路線、大滝地区19路線、荒川地区13路線の計67路線。全体延長119,768m、舗装延長91,980m、舗装率77%、森林管理道密度は1ヘクタールあたり5.5mである。

現在開設事業は、吉田地区の石神沢線と大滝地区の大達原線の2路線で、国の交付金事業を利用して実施している。

**問** 今後の見通しは。

**答** 石神沢線は平成30年度、大達原線は平成27年度の開通を目指している。

### ●秩父市の農業について

**問** 不耕作地の解消について。

**答** 不耕作地は増加傾向にあるが、次世代を担う新規就農者の確保や担い手への農地利用集積を推進するため、「人・農地プラン」の取り組みが始まり、新規就農者への給付金の支給や農地提供者に対する農地集積協力金の交付、貸し付金利の負担軽減措置などの支援を受けることができる。

### ●営農集団に対する支援は。

**問** 市単独の支援、補助というのは難しいものもあるが、今後は国や県に対する要望等を行っていきたい。

**答** 「帰化アサガオ対策について。対策会議」を発足し、防除技術や、まん延防止の啓発チラシの配布などを実施している。



統合される  
大滝小学校



統合される  
大滝中学校



帰化アサガオの種

# 一般質問

## 水道広域化の現状

**問** 水道広域化の現状と今後は。

**答** 平成23年11月に秩父地域水道広域化委員会を設立し協議に入り、平成25年9月24日に水道広域化準備室の設置に関する覚書締結式を1市4町の首長で行った。事務所の場所は別所浄水場内で、平成28年4月1日に組織統合(秩父広域市町村圏組合の1事業に)する方向で考えている。

## メガ太陽光発電プロジェクト

**問** その事業の現状は。

**答** 秩父市とエルゴサンジャパン(株)は基本協定を締結し、この事業を遂行することになっているが、当初の条件と異なること(賃貸権を設定登記し金融機関の担保に供すること等)が出てきたので、当初の条件で行うように要請した。

## 芝桜の丘の活性化事業

**問** 芝桜の丘にクリスマスローズを植えてはどうか。

**答** 芝桜以外に市が予算を確保して他の事業を始めることは、市の財政状況から難しいが、公園管理者以外でも申請を提出すれば植栽



市民クラブ 落合 芳樹 (おちあい よしじゅ)

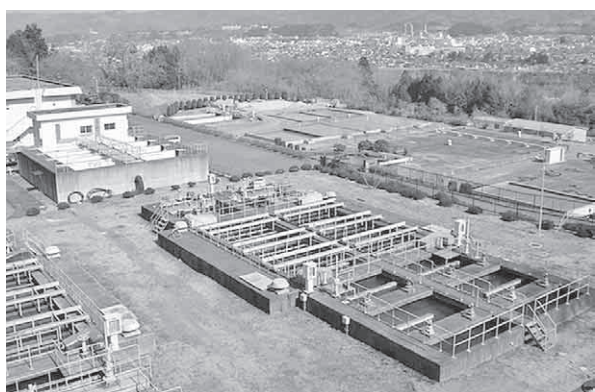
や管理は可能である。団体等で申請し、設置・管理をするのであれば、場所については協議をさせていただく。

## 教育委員会の現状と市長の考え

**問** 教育委員会とは。

**答** 教育委員会は教育行政を推進するための執行機関である。

**問** それについての市長の考えは。  
**答** 教育行政の決定権限を持つ執行機関は市長としてもらいたい。



別所浄水場

## 市民生活の安心・安全をめざして

日本共産党秩父市議団

齋藤 捷栄 (さいとう かつしげ)

## 24時間無料電話健康相談制度の導入について

**問** 平成17年4月の合併以来、人口は減り世帯数は増え、核家族化が進む一方高齢者だけの世帯比率は27%を超えている。こうした状況下で、子どもやお年寄りが急に具合が悪くなった場合など、いつでも、だれでも、どこからでも相談出来る窓口の開設はできないか。

**答** そうしたサービスを提供する民間会社があり、皆野町、小鹿野町で導入している。また埼玉県でも6月議会の質問を契機に「救急電話相談事業検討委員会」を設置して検討している。今後、県の動向にも注目しながら検討を進める。

## 社会経済情勢の変化に対応した聖地公園墓所の在り方について

**問** 利用されていない合葬墓の活用をどう考えているのか。

**答** 希望により合葬墓への改葬を認める、納骨室からの分骨・改葬を認める等の検討を進めている。

**問** カロート内への納骨を、骨壺による納骨だけでなく、散骨形式で納骨することは可能か。

**答** 聖地公園の地盤は粘土質で散骨には適していないが、条例上は散骨を禁止してはいない。

**問** 聖霊殿への分骨納骨は、継承者がいない場合も可能か。

**答** 条例・規則上は可能です。

**問** 永代使用料を徴収しながら、その後毎年管理料を徴収することには問題があるのではないか。

**答** 指摘の通り条例・規則に検討を要する問題があると思われるので、改正を含め検討したい。



聖地公園内の聖霊殿



# 一般質問

## 健康寿命延伸のために



公明党 福井 貴代

**問** レセプト・健康情報等のデータ分析に基づく、効果的な健康寿命延伸のための取り組み導入を。

**答** 保健センターと連携して取り組みたい。国保データベースシステムが25年12月末から稼動する予定。実際の活用は少し先になる。

**問** 健康世帯に奨励金のキャッシュバックで特定検診受診率向上を。

**答** 国保世帯で医療機関をまったく受診していないのは、約855世帯。保険制度は相互援助であり、国保財政運営上からも困難。健康診査の受診率向上策として、参加を促すよう景品等を配布することを今後検討していく。

### 産科の現状と今後について

**問** 市内産科診療所における、入院病床増床後の妊産婦受け入れ状況や、出産時の入院日数の状況は。里帰り出産の受け入れは可能か。

**答** 9月に12床から15床に増床したことにより、増床前の月40件が月50件に増加。入院日数は、正常分娩は4泊5日退院。経過等大丈夫な方には3泊4日を基本にお願いし、患者の状況を見て対応。里

帰り出産については空きがあれば受け入れている。今後も粘り強く産科医療の確保に取り組む。

### BMXでちび夢づくり

**問** 秩父からBMXで世界を目指す未来っ子を育てる取り組みは。

**答** 中学校にクラブチーム等を設置については各学校長の承認で可能。常駐の高山プロによる講習会や各学校へのポスター、チラシの配布を検討。競技人口増に期待。



BMX で世界にはばたけ

## 市役所本庁舎・

## 市民会館建設



日本共産党秩父市議団 新井 康一

**問** 東日本大震災の復興事業とアベノミクスによる大企業支援とバラ撒き、東京オリンピック招致による関連施設の建設などによる資材の高騰や建設職人の不足や労賃の引き上げ等により、建設費用が大幅に増えることが予想される。市長は、すべて込みで49億円以内に納めると言ったが、どのような見通しを立てているのか。

**答** まず消費税の3パーセントの上乗せが必要で、建設費の高騰により基本設計時より入札予定の26年5月までに9パーセント以上の物価上昇が見込まれることから、本体工事約44億円から約13パーセントのアップが必要と考えている。

**問** 国交省が建設労働者の設計労務単価を公表しているが、これが現場の労働者にきちんと支払われるか発注者の責任として把握することが必要だと思いが、どうか。

**答** 引き上げられた労務単価については、技能労働者へ適切な賃金が支払われるよう要請していく。

### こども医療費の対象年齢の拡大

ほぼすべての子どもが高校な

どへ進学する状況の中、子ども医療費の無料化を18歳まで引き上げてはどうか。16歳から18歳までの年齢は生涯の中で一番医療費がかからない年代なので予算もそれほど多くはかからないのではないか。

**答** 対象を18歳まで拡大した場合、新たに2千450万円の財源が必要となる。また、年齢を拡充すると国の調整交付金が減らされると。今後、県の制度拡充があつた場合には検討していく。



設計が進む新庁舎 (イメージ図)

# 一般質問

## 地域の願いを反映する市政に、大滝「道の駅」トイレの洋式化が図られる

日本共産党秩父市議員 山中 すすむ



### ●高齢者と粗大ごみの処理

**問** 独居世帯、高齢者世帯では、多くの方が粗大ゴミを処理することが大変であり、路地など狭い場所から公道までに出せないのが現状で困難をきたしている。現在、市ではどのような収集方法が図られているのか。自助・共助・公助で解決することが、セーフコミュニティとして支援策はここにあるのではと思われるが。

**答** 高齢者世帯の粗大ごみの処理など増加傾向だ。広域組合・市の関係部署と協議するなど、よりよい方策について検討していく。

### ●道の駅・公衆トイレの洋式化

**問** 道の駅のトイレや公衆トイレを利用する観光客やトイレだけ利用するドライバー、特に高齢者から秩父の駅や公園の公衆トイレなど洋式化の要望が強いものがある。おもてなしの心で接しようという条例の制定が図られようとしている中、利用する公衆トイレの洋式化が望まれるが、現在の取組みと今後の方向性について。

**答** 現在利用している大滝「道の

駅」トイレは、今年度中に男女トイレの内、半数を温水洗浄式トイレとして改修を予定している。

### ●民商・食品環境衛生協会各支部へ支援と助成

**問** 食品環境衛生協会秩父支部等、秩父の食の安全安心を担っている団体に助成を。

**答** 一度廃止した助成は不可能だ。



大滝「道の駅」トイレ

## 実効性ある産科医療・雇用施策を

かなさき まさゆき 金崎 昌之



### ●紙おむつ支給に所得制限撤廃を

**問** 「支給には、非課税世帯だけという所得制限があり、寝たきりの父のおむつ代が大きな負担」と聞いた。こうした所得制限がある自治体は県内でも少なく、秩父地域では秩父市だけ。少なくとも他の自治体並の配慮は示すべき。

**答** 受給件数が増加傾向にあり、財源確保の点から大変厳しい。

**問** 産科開設が大変むずかしい現状にある中、少しでも安心して子どもを産み育てられるよう、市立病院内で産後の医療ケアができる体制を最優先で確立すべき。

**答** 努力したい。

**問** 市がつながりを持つホンダ寄居工場への新卒者の雇用開拓や、他市で行っている「雇用開拓推進月間」に取り組むなど、自治体として積極的な雇用開拓にあたる必要があると考えるが。

**答** 雇用開拓は取り組んでいる。「雇用開拓推進月間」の取り組みについては、今後研究したい。

### ●議会報告会に寄せられた声

**問** てんぷら油再生事業を障がい者の雇用に結びつける考えは。

**答** 25年4月から定住自立圏域でも回収を始め、公用車の燃料から発電へと事業を拡大する予定。障がい者雇用に結びつけられるかについては、検討したい。

### ●婚活支援の現状と課題は。

**答** レッドアローを使った鉄コンが人気で、25年度3回開催。1回300万円の経済効果。課題は、街コンを通じた商店街活性化。



安心して子どもを産み育てられるまちに